

令和 6年度

事務事業評価表 ( 令和 5年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		県営事業の参画事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	040102000838	
						単独/補助	補助	所属課	050101	
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興						課長名	農林課	
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	農林G	
	施策名	01 農林業の振興						担当者名		
	手段名	02 ②農業の効率化推進								
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	06	01	05	02	00	単年度繰返し (平成23年度~)			
法令根拠							農地関係事業			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】 茨城県に対し、市が県営事業 (かんがい排水事業、ほ場整備事業、堰改修工事等) 整備要望をし、その事業費の一部負担と事務協力をとする事業です。</p> <p>【担当者が行う業務の手順】 事業主体である茨城県に対する事務協力、関係者との連絡調整。 市町村負担分の負担金納入</p> <p>【事業費の内訳】 (県営土地改良業: 山尾地区) R6事業費 370,000千円 (負担金 37,000千円) 国費: 50% 県費: 27.5% 市町村負担10% 地元負担12.5% (調査設計事業: 源法寺埜世地区) 調査設計費 R5 5,500千円, R6 1,750千円</p>	事業の調整・負担金の内訳確認。県からの負担金請求により伝票の処理。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事業主体である茨城県に対する事務協力、関係者との連絡調整。市町村負担分の負担金納入	実施負担金額	千円	3,899.00	22,400.00	38,750.00	38,750.00	38,750.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	千円	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
			年度計画負担額	4,625.00	26,500.00	38,750.00	38,750.00
県営土地改良事業に関する受益者			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	%	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
			推進率=全体事業費/計画事業費	100.00	100.00	100.00	100.00
県営事業の推進			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
		国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	3,899	22,400	38,750			
		事業費計(A)	千円	3,899	22,400	38,750			
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	05年度	06年度
18 負担金補助及び交付金	22,400	38,750
合計	22,400	38,750

(4) 当該年度の実施内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

08年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	事業の調整・負担金の内訳確認。県からの負担金請求により伝票の処理。	事業の調整・負担金の内訳確認。県からの負担金請求により伝票の処理。	事業の調整・負担金の内訳確認。県からの負担金請求により伝票の処理。
-----------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

事務事業名	原営事業の参画事業	事務事業No.	40102000838	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和52年度頃から、高生産性農業の促進・農業の近代化・農村環境の改善に資するため、ほ場整備事業、かんがい排水整備事業等を県営で実施する事業です。山尾地区については令和3年度に事業採択され、令和4年度に換地計画の策定を行い、令和5年度よりほ場整備が開始となった。源法寺埴世地区は引き続き、調査計画業務を実施し、令和6年度の事業採択を目指す。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
県営土地改良事業山尾地区を令和3年度採択。源法寺埴世地区については、事業採択に向けて調査設計業務を実施中であり、ほ場の大区画化を要望されている。羽鳥地区についても、ほ場整備の実施を要望されており、意向調査の実施し、早期の整備実施を要望されている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 山尾地区については、ほ場の区画整理に向けた事業採択がなされ、令和8年度に事業完了をさせていくための参画事業です。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 農業生産基盤を整備するための事業です。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 農業生産基盤整備以外の向上は困難である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 土地改良事業に関係する各種事業を効果的に実施することが困難になります。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 土地改良事業に関係する各事業を効果的に実施することが困難になることとや投資効果が得られなくなってしまう。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業主体は茨城県であり、事業相談窓口としての役割を担い最低限の人数で対応しています。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 茨城県が事業主体となり、国費・県費及び市、地元受益者負担により実施しています。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨	山尾地区については、令和3年度事業採択後、令和4年度に換地原案作成した。換地原案を基に令和5年度から令和8年度にかけ工事を実施する。源法寺埴世地区は、令和3年度から令和4年度にかけ調査設計業務を実施した。令和6年度事業採択のため、意向同意95%以上を確保するため、引き続き地元と調整を図る。																		
②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり																				
③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり																				
④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上維持</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持	○	×	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持	○	×	×																
	低下	×	×	×																
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑧																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>